

Plus RMA



第16号

2024/1/10

一般社団法人 RMA

🐼 CONTENTS 🐼

🐼 ISO 15189改定の経緯と目的について	関 顯	2
🐼 見学会のお知らせ～独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) 様～ ...	田中 隆	5
🐼 RMA Webサイトリニューアルオープンのお知らせ		6
🐼 RMA 2024年度上期セミナー開催予定表		7
🐼 事務局だより		11

ISO 15189 改定の経緯と目的について

一般社団法人 RMA 理事
ISO/TC 212/WG1 専門家
関 顯

ISO 15189「臨床検査室—品質と能力に関する要求事項」は、第3版発行から約10年ぶりに第4版が2022年12月にISO (International Organization for Standardization:国際標準化機構)より発行され、2023年6月には英和対訳版が日本規格協会から発売されました。今回は、一連の改訂・邦訳作業に参加した経験から改定の経緯と目的について詳しく述べさせていただきます。

I. ISO 規格の原則

まず初めに ISO 規格の原則についてご紹介いたします。

- ・ISO 規格は市場ニーズに適応します。新規作業項目提案はどのメンバー国による提案でも投票で承認されます。
- ・ISO 規格はグローバルな専門家の意見に基づいています。規格内容に関連する国々からの専門家が規格文書の開発に参加します。
- ・ISO 規格は多くの利害関係者の関与を通じて開発されます。専門家は、産業界、利用者、アカデミア、NGO および政府関係者から構成されています。
- ・ISO 規格はコンセンサス形成に基づいています。開発は、コンセンサスのアプローチをとり、

利害関係者からのコメントが考慮されます。

II. ISO 15189 の歴史

ISO 15189 の開発と維持において ISO TC (Technical Committee:専門委員会) 212 が重要な役割を果たしています。ISO TC 212 は、300 以上ある TC の 1 つで、45 の参加メンバーと 21 のオブザーバメンバーから構成されています。日本は、発言力がある参加メンバーとして参加しています。本委員会では 36 規格の発行と現在 18 の規格を開発中で、その範囲は検査医学と体外診断検査分野の規格と技術仕様書です。品質マネジメント、分析前後の手順、分析性能、基準システム、検査室の安全などが含まれ、5 つの作業グループ (WG1 から WG5) が活動しています。詳細は [JABLAS NEWS 第四十一号 \(2019 年 7 月\)](#) をご参照ください。

WG1 の活動の 1 つとして、ISO 15189 の開発と維持があります。ISO 15189 は、6 年間の文書作成後、2003 年に初版が発行され、その後、ISO/IEC 17025 との整合のために改訂され、2007 年に第 2 版が発行されました。第 3 版は、レイアウト変更と検査情報システムのセクションを追加し、2012 年に発行され、臨床検査室の品質と認定のための基本的な規格として世界的に使用されていました。

Ⅲ. ISO 15189:2022 への移行

全ての ISO 規格は、5 年ごとに確認、改定、取下げのレビューを行います。ISO 17025 は ISO 15189 の規範的な参照であるため、このたび同様の構造に従い、同じ必須の文言を一部組み入れる必要がありました。レビューに先立ち、2017 年に WG1 メンバーは、ISO 15189:2012 のどの箇条が利用者にとって理解・運用が難しく、改訂版で何を望んでいるのかを知りたかったため ISO 15189:2012 の利用者、実務者、および認定機関に対してアンケートを送信し、意見聴取のサーベイを実施しました。その結果、1600 件以上の回答があり、改善の余地があることが明らかになりました。そのうち 250 件は認定機関/国家標準機関/規制当局からで、残りは個人の検査従事者からでした。回答者からどの箇条が難しいのか、またその理由を答えてもらうことができました。回答者が難しいと感じた箇条については、約 300 件のコメントがありました。

Ⅳ. ISO 15189 改定の目標

改定プロジェクトリーダー Ms. Sheila Woodcock 氏による以下の改定の目標を設定しました。

1. ISO/IEC 17025:2017 「試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項」との整合性。
2. ISO 9001:2015 「品質マネジメントシステムの要求事項」の変更を考慮。
3. リスクに対処するための作業を計画し導入することで患者のウェルフェアへの焦点を強化。
4. 具体的な指示的でない記述。
5. 2022 年に取下げられた ISO 22870:2016

「POCT—品質と能力に関する要求事項」の要求事項の編入。

6. 支援文書の参照で要求事項を取り扱い、詳細説明や重複説明を削除。

Ⅴ. 支援文書とは

ISO 15189:2022 (本規格) は、他の規格の内容を繰り返さないようにするため、支援のための規格文書を参照としました。例えば、リスクマネジメントに関する要求事項は ISO 22367 「臨床検査室-臨床検査室に対するリスクマネジメントの適用」、検査室の安全に関する要求事項は ISO 15190 「臨床検査室-安全に関する要求事項」、サンプル(試料)採取及び搬送に関する要求事項は ISO 20658 「臨床検査室-検体の収集、搬送に関する要求事項」を参照として、それぞれの原則と整合が図られています。

Ⅵ. ISO 15189 改訂における主な変更点と検査室の対応

本規格の構成は、ISO/IEC 17025:2017 との整合をとった結果、内容は 2012 年版に比べ構造が大幅に変更されました。ISO 9001:2015 のマネジメント要求事項は、本規格の末尾に配置され、ISO 22870 にあったポイント・オブ・ケア検査(POCT)に関する内容は本規格の要求事項と附属書に取り入れました。

新たな視点として患者のウェルフェアへの焦点が強化され、リスクマネジメントも強調されました。また、プロセス重視の観点から指示的な記述が減少し、臨床検査室が規模(人員、設備、検査件数など)および展開する活動に応じて、その実際に即したマネジメントシステムを効率的に構築・導入できるよう提案されています。検査室は、すべてのプロセスでリスク評価を示す必要があります。

ます。

また、妥当性確認、トレーサビリティ、測定の不確かなどの技術的な要求については一般的記述で詳しく説明していません。安全性、バイオリスク、およびリスクマネジメントについても基本的な記述にとどまり、検査室の実際の状況に合わせて支援文書を参照して理解した上で、導入する必要があります。自施設に適応したマネジメントシステムの構築と運用には、マネジメントシステムに

関する知識・経験が必要とされます。一方、検査室の認定に関わる審査員にとっても従来以上に審査前の事前準備と現地審査への対応に対する審査力量が要求されることが予想されます。

RMA では ISO 15189:2022 に対応した各種セミナーを開催し、規格の解釈だけでなく、臨床検査室の品質マネジメントシステム全般に対する理解を促進しています。どうぞご利用ください。セミナーへのご参加を心よりお待ちしております。



ISO 15189:2022 作成プロジェクトメンバーと主な WG1 メンバー、
前列中央が Project leader の Ms. Sheila Woodcock MBA

見学会のお知らせ

～独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) 様～

一般社団法人 RMA 事務局長
田中 隆

コロナ禍でしばらく休んでおりました見学会を開催することになりました。

今回は、独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) を訪問します。

NITE は戦前の 1928 年、絹織物の品質検査を行う輸出絹織物検査所としてスタートしました。その後、各種工業製品の検査所が設置され、1984 年にはこれまでの検査所が統合されて通商産業検査所となりました。その過程で培った製品の評価技術能力は、国の製品評価技術センターとして位置付けられ、独立行政法人法の成立と共に 2001 年に現在の独立行政法人製品評価技術基盤機構に組織化されました。

評価技術は製品安全の分野でも活かされ、日常生活で使用する電気製品などによる事故の情報収集・調査にもつながっています。エアコンが発火して火事の原因となる動画をテレビでご覧になった方は多いことと思います。安心・安全な国民生活実現のために NITE が作成したものであり、製品安全は NITE が貢献している大きな分野のひとつです。

化審法に基づく化学物質のリスク評価や安全管理、リチウムイオン蓄電池などの大型蓄電池システムの安全性、信頼性なども持ち前の評価技術を駆使して、産業支援や国際標準化の推進に寄与しています。

従来イメージの製品安全分野からは意外と思われるバイオテクノロジー分野でも、生物資源データプラットフォーム (DBRP) を構築し、生物資源に係る産業化の支援を行っています。繊維製品と肌との接触

関係、毛織物の鑑別は、長年 NITE で研究されてきた対象です。その中で育まれた生体分析や遺伝子解析技術は、NITE のこれからのイノベーションを促進する期待される評価技術です。

90 年以上に及ぶ評価技術の歴史は、計量法や産業標準化法に基づく登録・認定制度 (JCSS, MLAP, JNLA) や NITE 独自の認定制度 (ASNITE) を支える技術基盤として結実しています。これらの登録・認定業務を運営し、適合性評価制度を普及推進する組織として NITE 認定センター (IAJapan) があります。RMA 会員の試験所の方々の中にも、登録試験所として IAJapan にお世話になっておられる方も多いかと思います。

以上のように NITE は、製品評価に必須の種々の試験技術や施設を有しています。いわば日本の製品評価技術の総本山ともいえるところです。今回は、その中でも長い歴史を持つ製品安全センターと最先端に行くバイオテクノロジーセンターを見学します。

この機会に製品評価技術の中核の見聞を通じて、日頃評価の核となる試験技術に関わる皆様の技術知識の一新になれば幸いです。

以下の写真は、NITE の外観です。



以上

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) 様 見学会

2024年1月29日(月)14:00-16:00開催です！

[RMA Webサイト](#)よりお申込みいただけます。残席僅かですのでお早めにお申込みください！

RMA Web サイトリニューアルオープンのお知らせ

一般社団法人 RMA 事務局

2023年12月18日(月)にRMA Web サイトがリニューアルいたしました。

【皆様へのお願い】

★2023年12月18日(月)以降に初めてセミナーをお申込みになる方は、セミナー申込みをする前に、必ずマイページのご登録をお願いいたします。

登録方法につきましては、Webサイトの【セミナー】タブの下にあります、「セミナー受講の流れ」の「マイページ登録の手順はこちら」を参照してください。

【マイページの登録時にご入力いただく項目】

氏名、メールアドレス、パスワード、法人名(会員様の場合は会員番号)、所属名、住所、電話番号

【マイページ登録時のご注意】

- ・マイページのアクセスキーが個人のメールアドレスとパスワードとなります。そのため、共通メールアドレスはお使いにならず、1メールアドレスにつき1名様での登録をお願いします。
個人情報漏洩防止のため、アドレスの使いまわしはできません。
そのため、マイページの氏名の変更は不可となります。
- ・RMA会員様は、マイページ本登録の際、必ず会員番号をご入力ください。
そのため、マイページの氏名の変更は不可となります。

RMA 2024 年度 対面型セミナー 開催予定表

1/2

※ 諸事情により日程は変更する場合がございます。

No.	対面型セミナー ※3か月前からお申込み可能となります	会場	受講料 (消費税込)		2024年度														
					2024年									2025年					
					上期						下期								
					会員	非会員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	

規格解説セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	第74回 ISO/IEC 17025 規格解説と運用セミナー(東京) “要求事項の解釈はこれでいいの?—判断の難しい事例を踏まえて”	東京	¥33,000	¥66,000			6/25									
2	第75回 ISO/IEC 17025 規格解説と運用セミナー(東京) “要求事項の解釈はこれでいいの?—判断の難しい事例を踏まえて”	東京	¥33,000	¥66,000						9/5						
3	第76回 ISO/IEC 17025 規格解説と運用セミナー(大阪) “要求事項の解釈はこれでいいの?—判断の難しい事例を踏まえて”	大阪	¥33,000	¥66,000							10/8					
4	第77回 ISO/IEC 17025 規格解説と運用セミナー(東京) “要求事項の解釈はこれでいいの?—判断の難しい事例を踏まえて”	東京	¥33,000	¥66,000										1/16		

内部監査員養成セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5	第106回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000		5/14 15										
6	第107回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(大阪)	大阪	¥66,000	¥132,000			6/11 12									
7	第108回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000				7/17 18								
8	第109回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000						9/26 27						
9	第110回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(大阪)	大阪	¥66,000	¥132,000								11/7 8				
10	第111回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000									12/17 18			
11	第112回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000											2/13 14	
12	第4回 ISO/IEC 17025 内部監査リーダー養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000							10/29 30					

試験技術セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
13	第1回 ISO/IEC 17025リスクから考える試験、不確かさとトレーサビリティ(東京) —演習で学ぶ、試験の質管理、トレーサビリティと校正—	東京	¥33,000	¥66,000			6/17									
14	第2回 ISO/IEC 17025リスクから考える試験、不確かさとトレーサビリティ(東京) —演習で学ぶ、試験の質管理、トレーサビリティと校正—	東京	¥33,000	¥66,000									12/2			

不確かさセミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
15	2024年版 不確かさにおける基礎から応用までセミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000				7/5								
16	2024年版 不確かさにおける基礎から応用までセミナー(大阪)	大阪	¥33,000	¥66,000				7/19								
17	第9回 基本モデル事例で理解する不確かさ演習セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000									12/10			



RMA 2024 年度 対面型セミナー 開催予定表

2/2

※ 諸事情により日程は変更する場合がございます。

No.	対面型セミナー ※3か月前からお申込み可能となります	会場	受講料 (消費税込)		2024年度														
					2024年										2025年				
					上期					下期									
			会員	非会員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			

食品・微生物分野セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
18	第20回 食品・生物系試験所のための内部監査員養成セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000							10/16					

臨床検査分野セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
19	第13回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000		5/25 26										
20	第14回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000				7/20 21								
21	第15回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000						9/14 15						
22	第16回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000								11/16 17				
23	第17回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000										1/18 19		
24	第18回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000												3/8 9
25	第1回 ISO 15189:2022 内部監査員養成セミナー(JIS Q 19011準拠)(東京)	東京	¥33,000	¥66,000			6/22									
26	第2回 ISO 15189:2022 内部監査員養成セミナー(JIS Q 19011準拠)(東京)	東京	¥33,000	¥66,000							10/5					
27	第3回 ISO 15189:2022 内部監査員養成セミナー(JIS Q 19011準拠)(東京)	東京	¥33,000	¥66,000											2/22	
28	第12回 ISO 15189:2022 規格改定解説セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000	4/26											
29	第13回 ISO 15189:2022 規格改定解説セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000			6/14									
30	第14回 ISO 15189:2022 規格改定解説セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000					8/23							
31	第15回 ISO 15189:2022 規格改定解説セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000							10/25					
32	第16回 ISO 15189:2022 規格改定解説セミナー(大阪)	大阪	¥33,000	¥66,000									12/13			
33	第17回 ISO 15189:2022 規格改定解説セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000											●	
34	第1回 臨床検査室のためのリスクマネジメントセミナー ～ ISO 15189:2022をより理解するため ～(東京)	東京	¥33,000	¥66,000				7/26								
35	第2回 臨床検査室のためのリスクマネジメントセミナー ～ ISO 15189:2022をより理解するため ～(東京)	東京	¥33,000	¥66,000						9/13						
36	第3回 臨床検査室のためのリスクマネジメントセミナー ～ ISO 15189:2022をより理解するため ～(東京)	東京	¥33,000	¥66,000										●		
37	第1回 ゼロから学ぶ臨床検査の統計学、基礎から応用までのセミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000				7/31								
38	第1回 ISO 15189内部監査リーダー養成セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000								11/20				

製品認証セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
39	第1回 ISO/IEC 17065 規格解釈と製品認証(東京)	東京	¥33,000	¥66,000					8/30							



RMA 2024 年度 オンラインセミナー 開催予定表 1/2

※ 諸事情により日程は変更する場合がございます。

No.	オンラインセミナー ※3か月前からお申込み可能となります	会場	受講料 (消費税込)		2024年度														
					2024年										2025年				
					上期					下期									
					会員	非会員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	

規格解説セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	第18回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎(担当者コース/Basicコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000	4/23											
2	第19回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎(担当者コース/Basicコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000		5/28										
3	第20回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎(担当者コース/Basicコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000					8/1							
4	第21回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎(担当者コース/Basicコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000								11/19				
5	第22回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎(担当者コース/Basicコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000											2/20	
6	第14回 一歩進んだISO/IEC 17025の活用(ラボ管理者・中堅要員コース/Advancedコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000		5/9										
7	第15回 一歩進んだISO/IEC 17025の活用(ラボ管理者・中堅要員コース/Advancedコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000			6/6									
8	第16回 一歩進んだISO/IEC 17025の活用(ラボ管理者・中堅要員コース/Advancedコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000					8/20							
9	第17回 一歩進んだISO/IEC 17025の活用(ラボ管理者・中堅要員コース/Advancedコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000									12/5			
10	第18回 一歩進んだISO/IEC 17025の活用(ラボ管理者・中堅要員コース/Advancedコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000												3/4

内部監査員養成セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
11	第10回 ISO/IEC 17025 オンラインによる内部監査員実践セミナー(2日) — ロールプレイによる指摘演習 —	オンライン	¥66,000	¥132,000					8/28 29							
12	第11回 ISO/IEC 17025 オンラインによる内部監査員実践セミナー(2日) — ロールプレイによる指摘演習 —	オンライン	¥66,000	¥132,000								11/27 28				
13	第12回 ISO/IEC 17025 オンラインによる内部監査員実践セミナー(2日) — ロールプレイによる指摘演習 —	オンライン	¥66,000	¥132,000												3/11 12

試験技術セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
14	第1回 ISO/IEC 17025のキーポイントへの取り組みとマネジメント(半日) — 試験、不確かさとトレーサビリティ、リスクとマネジメント —	オンライン	¥16,500	¥33,000					8/19							
15	第2回 ISO/IEC 17025のキーポイントへの取り組みとマネジメント(半日) — 試験、不確かさとトレーサビリティ、リスクとマネジメント —	オンライン	¥16,500	¥33,000										1/20		
16	第6回 オンラインで学ぶゲルマニウム検出器によるガンマ線スペクトロメトリ(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000			6/27									
17	第7回 試験所における計量トレーサビリティの確保と内部校正の利用(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000						9/10						
18	第8回 試験所における計量トレーサビリティの確保と内部校正の利用(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000										1/23		
19	第5回 試験所(化学分野)における精度管理の基本的な考え方(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000							10/3					
20	第6回 試験所(化学分野)における精度管理の基本的な考え方(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000												3/7

RMA 2024 年度 オンラインセミナー 開催予定表 2/2

※ 諸事情により日程は変更する場合がございます。

No.	オンラインセミナー ※3か月前からお申込み可能となります	会場	受講料 (消費税込)		2024年度												
					2024年								2025年				
					上期					下期							
					会員	非会員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
不確かさセミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
21	聞いて、見て、やってよく分かる 2024 不確かさセミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000		5/24											
22	聞いて、見て、やってよく分かる 2024 不確かさセミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000							10/11						
23	現場で役立つ 2024 不確かさセミナー：検量線・校正直線を用いた時の不確かさ評価	オンライン	¥33,000	¥66,000												2/4	
食品、微生物分野セミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
24	第5回 食品分析の品質保証と不確かさ ―理化学試験を中心として―	オンライン	¥33,000	¥66,000			6/19										
25	第6回 食品分析の品質保証と不確かさ ―理化学試験を中心として―	オンライン	¥33,000	¥66,000								11/13					
26	第5回 微生物試験結果が妥当であるための要件	オンライン	¥33,000	¥66,000				7/24									
27	第6回 微生物試験結果が妥当であるための要件	オンライン	¥33,000	¥66,000												2/18	
臨床検査分野セミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
28	第7回 臨床検査室で役に立つ標準作業書作成セミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000		5/29											
29	第4回 効果的な教育・訓練システム構築のためのセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000												2/26	
マネジメントセミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
30	第10回 オンラインで学ぶボラトリのリスクマネジメント(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000		5/21											
31	第11回 オンラインで学ぶボラトリのリスクマネジメント(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000							10/22						
製品認証セミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
32	第2回 オンラインで学ぶISOによる製品認証と認証スキーム(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000		5/31											
33	第2回 オンラインで学ぶISO/IEC 17065 製品認証とファンクショナル・アプローチ(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000													3/26
試験所経営セミナー					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
34	第1回 イノベーション人材セミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000				7/22									
35	第2回 信頼性マーケティングセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000												2/3	

事務局だより

2024年度上期(4月～9月)のセミナー開催予定を更新しました

2024年度上期のRMAセミナー(対面型、オンライン)の予定を7～10ページに掲載しました。
RMAウェブサイトのトップページ(<https://rma.tokyo>)の「セミナー予定表」からもご確認いただけます。
セミナーの追加や変更がある場合はウェブサイトで随時お知らせします。

セミナーご受講までの手順が変わりました

RMAウェブサイトのリニューアルに伴い、12/18より従来のセミナーお申込み方法や受講票、請求書の確認方法が変わりました。最初に「マイページ」をご登録いただいたのち、セミナーのお申込みをお願いします。また、これまでメール添付で送付させていただいていた、「受講票」、「請求書」や「領収書」はマイページよりダウンロードしていただけるようになりました。詳しくは、トップページのセミナータブ内「セミナー受講の流れ」(<https://rma.tokyo/flow>)をご覧ください。

セミナーのお申し込みは開催日の約3か月前から可能です。
まず「マイページ登録」からお願いします！
皆様のお申込みお待ちしております。



編集 後記

この度の令和6年能登半島地震による災害の被災者の方々に、謹んでお見舞い申し上げます。一刻も早い被災地の復旧を心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

事務局 編集担当 中澤

発行：一般社団法人 RMA

東京都品川区西五反田1丁目11-1
アイオス五反田駅前 502号

 03-6417-3400

 jimukyoku@rma.tokyo

 <https://rma.tokyo>